

# 農林水産「新成長戦略」対応基盤整備について

～ 農林水産業を地域の成長産業として発展させるために ～



平成22年9月  
農林水産省

# 農林水産「新成長戦略」対応基盤整備（農山漁村地域整備交付金）

「元気な日本復活特別枠」要望額 170 億円

「新成長戦略」に即し、農林水産業を地域の成長産業として発展させるため、これに直結する基盤整備を重点的に推進。

## 「新成長戦略」における課題と対応

### 課題

#### 農業水利施設の老朽化

- 高度経済成長期に造られた農業水利施設は、500箇所前後の施設が毎年更新時期を迎える。
- 国、地方の厳しい財政事情の中で、これを全面的に更新することは困難。

#### 森林の荒廃・林業の低迷

- 我が国の林内路網は、諸外国に比べ路網の整備が進んでおらず、効率的な林業の実施に支障。
- 整備が遅れ、森林の荒廃を招くおそれ。

#### 農林漁業者の減少・生産環境の悪化

- 農林漁業者の減少、高齢化が進行するとともに、地域資源の持続的利用を可能とする農林水産業の生産環境が悪化。

### 対応

#### 1. 農業水利施設の長寿命化

パイプラインの破損のような深刻な機能低下が生じる前に、機能診断に基づく適切な補修を実施。

#### 2. 森林・林業の再生

森林経営の基盤となる路網整備の加速化による森林施業や間伐材輸送の効率化。

#### 3. 「地域資源」の活用

農林漁業者が安心して農林水産業を営むことができる水産資源の回復に必要な藻場等の整備促進。

### 成果

食料安定供給の確保と安定的持続的な農業経営  
施設の長寿命化により、ライフサイクルコストを縮減

持続的な森林経営の確保に貢献  
林業を成長産業として再生  
10年後の木材自給率50%達成

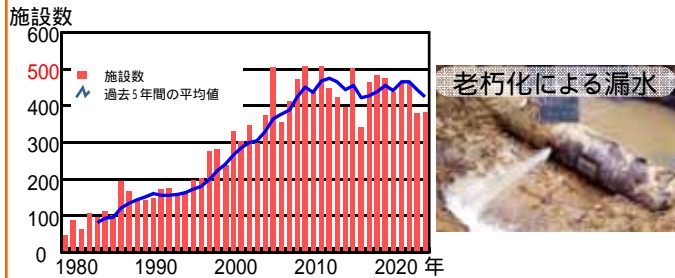
資源管理・漁業所得補償対策等の円滑な実施に貢献  
地域の成長産業化

# 農林水産「新成長戦略」対応基盤整備（農山漁村地域整備交付金）

## 1 農業水利施設の長寿命化

### 現状

基幹的な農業水利施設は500箇所前後の施設が毎年更新時期を迎える

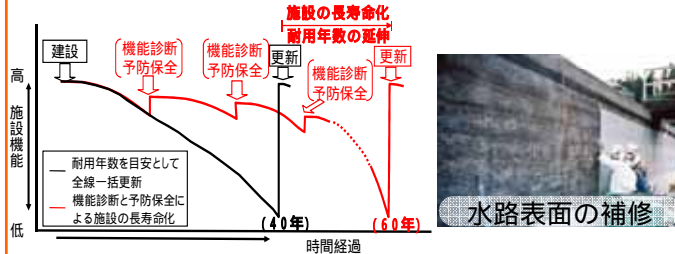


### このまま何もしないと...

- 10年後には全国の基幹的な農業水利施設の約5割で耐用年数を超過
- 破損事故の頻発により、用水が止まり、作物が枯死したり、収量が大きく落ちるなど、安定した農業経営や食料供給が困難に

### 対策

深刻な機能低下が発生する前に、機能診断に基づく適切な対策を施す予防保全対策を実施することにより、施設を長寿命化



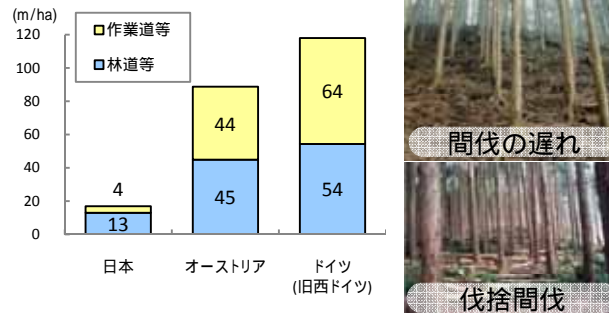
### 対策によって

最小限の投資で食料生産に不可欠な農業用水を持続的に利用

## 2 森林・林業の再生

### 現状

路網の整備の遅れが効率的な間伐を阻害

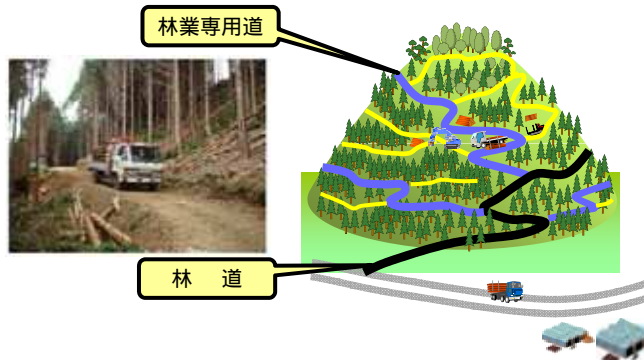


### このまま何もしないと...

- 森林の整備が遅れ、公益的機能の低下を招くおそれ
- 効率的な林業が展開されず、森林・林業の再生が困難に

### 対策

簡易で丈夫な道を主体とした路網整備を推進



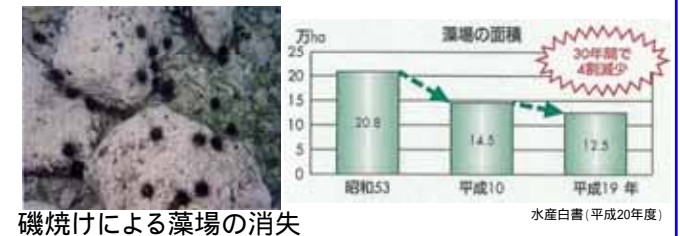
### 対策によって

森林施業や間伐材輸送の効率化を図る

## 3 「地域資源」の活用

### 現状

磯焼け等による藻場的大幅な減少  
低位な水産資源



### このまま何もしないと...

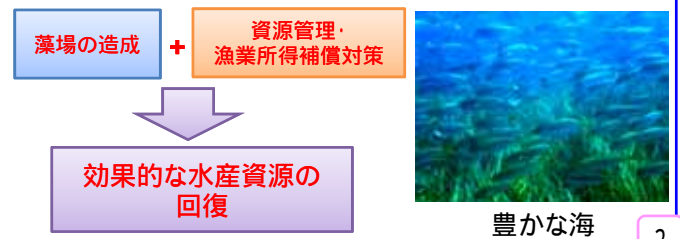
- 藻場等の消失が進行し、それに依存する魚介類の水揚げ量(1.6万トン/年)が減少
  - ↳ メバル、カレイ、サザエ、ウニなど

### 対策

藻場の重点整備



### 対策によって



## 農林水産「新成長戦略」対応基盤整備（農山漁村地域整備交付金）

Q1 この事業で「強い経済」が実現できるのですか。



A1 農業水利施設の保全、路網整備、藻場の再生といった農林水産業の成長産業化の基礎を築くとともに、将来必要となる更新投資を縮減し、「強い経済」に不可欠な「強い財政」に寄与します。

Q2 このような事業は地方に任せればよいのではないですか。



A2 「新成長戦略」は国全体の課題や目標を示したものであり、その内容を共有したうえで、地方公共団体が主体的にこの事業を進めることとしています。

Q3 農業水利施設のストックの老朽化でどんな問題が生じるのですか。



A3 これまでに整備してきた農業水利施設が古くなることで性能が低下し、農地に安定して水を運んだりする役割や、農作物の浸水を防ぐ役割が果たせなくなり、農産物の安定生産ができなくなります。

Q4 農業水利施設の長寿命化とはどのようなことをするのですか。



A4 コンクリート水路の劣化度測定といった機能診断や、水路の継ぎ目、ひび割れの補修を早期に行うことで施設の長寿命化を図り、少ないコストで農業水利施設のストックを効率的に保全します。

Q5 路網の整備によって具体的にどのような効果が期待されるのですか。



A5 林業機械による効率的な作業及び間伐材の運搬が可能となり、間伐の推進と間伐材の利用が促進され、これにより、森林の有する多面的機能の発揮と木材自給率の向上に寄与します。

Q6 諸外国の路網整備の状況はどの程度ですか。



A6 ドイツでは1ヘクタールあたりの路網の延長が118m、オーストリアでは89mとなっている一方、我が国は17m程度となっています。

Q7 藻場はどのような状態なのですか。



A7 藻場は沿岸部に生息する魚介類の産卵・生育の場として重要ですが、長期にわたって海藻が消失する「磯焼け」や沿岸部の開発等により、30年間で約8万ヘクタールと大きく減少しています。

Q8 藻場等の整備によってどのように効果が期待できるのですか。



A8 藻場等の整備を行うことで持続的な水産資源の利用が可能となり、漁業者が安心して水産業を営む環境を作ることができます。